

氏名	安 光 正 治
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第2944号
学位授与の日付	平成7年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	両側変形性股関節症に対する片側全人工股関節置換術後の 非手術側の臨床的X線学的变化
論文審査委員	教授 平木 祥夫 教授 折田 薫三 教授 清水 信義

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

両側変形性股関節症に対する片側の全人工股関節置換術(THA)施行例の約60%で対側のTHAを待機できた。非手術側股関節は、術後1年で臨床的に改善し、X線学的にも骨囊胞が減少し、その後も良好な成績であった。他方、対側のTHAを必要とした場合は、術後1年の時点で臨床的に改善しなかった。

非手術側の術前が、Bombelli分類でいえば肥大性反応、病期分類でいえば末期に、非手術側の改善が期待できたが、X線学的計測、身長、体重、性差等の関与を認めなかった。

THAは早期より関節機能を再建できる優れた術式であるが、人工物の限界もあり、両側に容易に施行すべきではなく、臨床的、X線学的経過を観察し、対側の手術はできるだけ避けるべきである。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は整形外科領域における両側変形性股関節症に対する片側の全人工股関節置換術施行64例について臨床的ならびにX線学的に研究したものであるが、従来十分解明されていなかった非手術側股関節の変化に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。